

FUKUSHIMA

invisible Journey



地震、津波、原発事故から14年。
一度、人が住めなくなった地域で、
アートと暮らしが交わり新しいプロジェクトが生まれています。
あなたの知らない福島と、ぜひ出会いにきてください。



FUKUOKA

福岡

@VIEWWW
@マスコヒーローズスタジオ店

2025.12/12 Fri - 14 Sun
10:00 - 19:00



この先、
福島浜通り
関係案内所



KYOTO
京都 @QUESTION

2026.1/28 Wed - 31 Sat
10:00 - 19:00

※最終日は18:00まで



FUKUSHIMA inVisible Journey

この先、福島浜通り関係案内所

「FUKUSHIMA inVisible Journey」は、NPO法人インビジブルが2018年から福島県浜通り地域で継続的に取り組んできた一連のアートプロジェクトの取り組みを介して、東日本大震災と東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所事故という未曾有の複合災害を経験したこの地の「今」を、多角的な視点で発信する試みです。

リサーチやワークショップを通して生まれた作品、アーティストと住民による共創の記録や各活動のアーカイブ写真と共に、放射性物質の除染作業を象徴するフレコンバッグという浜通りの日常風景の一部を展示します。会期中は、これまでに協働してきたアーティストや関係者とのトークイベントも開催。

この地に複雑に積層する「見えない課題」に対する実践を、遠く離れた地域で開くこと。それを手がかりに対話を重ねていくことで、「福島を経験」が私たちの日常と地続きであると改めて気づくはずです。

この先、福島浜通り関係案内所。

福島の「今」と私たちの「未来」を考える旅路に、ぜひお立ち寄りください。

会場・日時

■福岡会場

2025年12月12日(金) - 14日(日) 10:00 - 19:00

@ VIEWW 福岡市中央区薬院4丁目3-2

@ マヌコーヒー ロースターズ クジラ店 福岡市中央区白金1丁目18-28

■京都会場

2026年1月28日(水) - 31日(土) 10:00 - 19:00 ※最終日は18:00まで

@ QUESTION 京都市中京区河原町通御池下る下丸屋町 390-2

内容

- ・福島県浜通り地域で展開する9つのアートプロジェクト紹介
- ・プロジェクトで制作した作品展示
- ・協働パートナーたちと「福島の今とこれからを語る」トークイベント

※会期中はインビジブルスタッフが在廊しご案内を予定

イベント情報

会期中は、NPO 法人インビジブルがこれまで福島県浜通り地域で協働してきたゲストと、各開催地のゲストを招き鼎談イベントを開催します。ゲストや詳細情報は、公式サイトをご覧ください。

公式サイト URL
<https://invisible.tokyo/fij>
SNS アカウント
<https://www.instagram.com/invisible.tokyo>
メールアドレス q@invisible.tokyo (担当：日向)



主催：NPO 法人インビジブル／協力：桜井祐研究室(九州産業大学芸術学部)、TISSUE Inc.、株式会社ツナグム／アートディレクション：土屋勇太／編集：嘉原妙

inVisible

主催：NPO 法人インビジブル

「invisible to visible (見えないものを可視化する)」を理念に、2015年に創業した NPO 法人。これまで全国各地でアートプロジェクトを通じた地域再生や教育、観光事業などに携わる。現在は、福島と東京一東日本大震災と原発事故による複合災害を経験した地域と、その出来事を語る上で避けては通れない日本の中心一を行き来しながら、アートと創造性の力で見落とされた間いや状況に光をあて、しなやかな社会・制度・コミュニティの可能性を模索するためのプロジェクトに取り組んでいる。

福島には、「レジリエンス(再生する力)」が求められている。「復興＝元に戻すこと」を越えていくために、私たちは前例のない挑戦を続けていく必要がある。

私たちが取り組むアートプロジェクトは、作品を完成させることだけを目的とするのではなく、日々の営みを新たな視点で見つめ直し、考え、試し、学び、異なる声に耳を傾けながら、変化とともに思考し続けることを目指すもの。

他者との関わりの中に生まれる小さな気づきを頼りに、対話と共創を重ねながら、まだ見ぬ社会のかたちを模索し続けている。

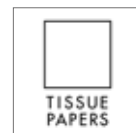
パートナー紹介

福岡パートナー



桜井祐研究室(九州産業大学芸術学部)

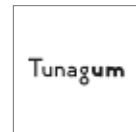
編集者の桜井祐准教授が主宰。「媒介の実践としての編集的知」をテーマに、研究者・アーティスト・学生らと共に学際的なプロジェクトを展開。フィールドワークを通じて地域に埋もれた記憶や文化、見えにくい課題を掘り起こし、書籍・映像・Podcast など多様なメディアで可視化の実践を行う。デザイン・編集・キュレーションを学ぶ学生たちが、アカデミズムと社会を接続する現場で実践的な学びを重ねている。



TISSUE Inc.

東京と福岡を拠点に2017年に設立。編集とデザインを広義に概念化し、さまざまな形で社会に関与していくことを旨とする。企業、行政、メディア、教育・研究機関、作家やアーティスト、伝統工芸や伝統文化などの多様な担い手と協働し、その価値を過去から未来を含む長い時間軸のなかで捉えながら、より遠くにボールを投げるように、未来の社会像をともに描くことを目指す。

京都パートナー



株式会社ツナグム

株式会社ツナグムは、「人と人、人と場のつながりを紡ぐ」をミッションに、京都を拠点に活動する企画運営会社。京都移住計画を起点に、企業・大学・自治体との共創プロジェクトを通じて、生き方や働き方の選択肢を広げ、共に生きやすい社会づくりを目指している。京都会場の QUESTION の運営にもコアパートナーとして参画。

写真：新津保健秀、鈴木穰蔵、吉田和誠

このチラシは福島県「令和7年度ふるさと・きずな維持・再生支援事業」の補助金の交付を受けて作成しています。